

もしものときのために

「人生会議」してみませんか。

11月30日(いい看取り・看取られ)は人生会議の日です。

「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」とは、もしものときのためにあなたの大切にしていることや望み、どのような医療やケアを望んでいるかを前もって考え、家族や周囲の信頼する人たちや医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。

「人生会議」はなぜ大切な？

思いがけない事故や病気の進行によって、誰にでも「もしものとき」が突然訪れる可能性があります。厚生労働省によると、命の危険が迫った状態になると約70%の方が、これからの医療やケアなどについて自分で決めたり、人に伝えたりすることができなくなるといわれています。

「人生会議」は、もしも、あなたがそのような状況になったとき、家族や周囲の信頼する人たちが「あの人はらきとこう考えるんじゃないか」とあなたの気持ちを想像しながら医療・ケアチームとあなたの医療やケアについて話し合う重要な助けとなります。

これからも自分らしく生きていくための美浜町版エンディングノート「私の大切な思い」

本町では、あなたがこれからの人生をどう生きたいか、何が大切なのかを家族や周囲の信頼する人たちと話し合うきっかけづくりとなるように、美浜町版エンディングノート「私の大切な思い」を配布しています。

あなたが今後の人生でしたいことや大切にしていることを知る、気づききっかけとなるように、終活を自分らしく生きるための前向きな活動と捉え、取り組む人が少しでも増えるように、あなたの考えを書き込んで簡単に整理できる簡易的なつくりとなっています。

若い方から高齢の方まで何歳からでも構いません。自分にはまだ早いかと思われている方もまず取り組んでみて、あなたのこれからの家族や周囲の信頼する人たちと話し合うきっかけにしてみませんか？

配布場所 福祉課、地域包括支援センター

こちらからダウンロード出来ます。

